

平成30年度パソコン寺子屋活動実績報告

作成 H31.04.22 塾長 森 繁満

1.目的

- パソコン寺子屋は菊川市1%地域づくり活動の団体で、地域づくり・人づくりのひとつとし、活動はボランティアで行う。
- 受講対象者は、趣味や日常生活にパソコンを取り入れて活用したい中高年者とし、本講座でパソコン操作や知識を楽しく習得して、快適な生活に役立てるための支援となること、また本講座を通して人の輪が広がることを目的とする。

2.特徴

- 寺子屋は、他の教室とはひと味違うユニークな授業手法を取り入れており、常に教室は活気があり、明るさと和気あいまいの雰囲気勉強を行っている。
- ここは、コミュニティ協議会の本来の趣旨である地域づくりの交流の場となり、認知症予防にもなります。

3.授業形態

受講名称	対象者	受講期間	受講時間	受講回数	備考
①通常授業	新規入門者	6ヶ月	19:00~20:30	28回/年	4~9月・10~3月
②特別授業	通常授業者,通常授業卒業生	無期限	9:00~12:00	48回/年	通常授業の補充
③サークル勉強会	通常授業卒業生	無期限	9:00~12:00	46回/年	パソコンの汎活用

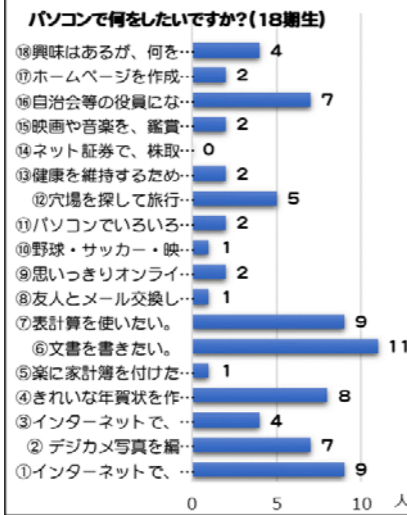
開催場所：青葉台コミュニティセンター

4.目標に対する実績

① 入門者数 (名)				
	目標	実績	比較	評価
男性	15	13	-2	×
女性	15	10	-5	×
合計	30	23	-7	×

② 授業開催回数 (回)				
	目標	実績	比較	評価
通常授業	28	28	±0	○
特別授業	48	48	±0	○
サークル勉強会	46	45	-1	△
合計	122	121	-1	△

③ 授業参加者(述べ) (名)				
	目標	実績	比較	評価
通常授業	420	411	-9	△
特別授業	720	889	+169	◎
サークル勉強会	1,150	1,186	+36	○
合計	2,290	2,486	+196	◎



1.入門者数

従来は13~17名程度の申込者があるが、本年度下期のみは6名であった。内訳は、紹介者から4名、地区センターのチラシを見て1名、広報さくがわを見ての申込者は1名である。申し込み者の少なかった原因として、1つ目は広報さくがわへの掲載の仕方、2つ目はパソコンブームが去ってしまっている、3つ目は定年が60歳から65歳に変わってしまったためと考えられる。受講者が少ないため、最悪の処置として休校も考慮したが、スタッフで協議した結果、前期受講者の中から通常授業の再受講希望者11名を加えて寺子屋を続行した。

2.開催回数

通常授業は目標に対して100%達成、特別授業も同じく100%達成、サークル勉強会のみ10/2(火)の台風により、停電になったため休校とした。結果、目標に対して-1回となった。

3.参加者数

通常授業は目標420名に対し-9名で微減です。特別授業は目標720名に対し+169名で大幅増、サークル勉強会は目標1,150名に対し+36名で増、全体では目標2,290名に対し+196名で大幅増となりました。

5.実施事項

実施項目	内容	授業回数	対象者
① PCの初歩の基本	電源のON・OFFとマウスの使い方	1.5H×1回 3.0H×2回	通常授業 特別授業
② 文字入力 (Google日本語入力)	文字列入力の基礎	1.5H×1回 3.0H×2回	通常授業 特別授業
③ 日本語変換 (Google日本語入力)	日本語変換の基礎 単語登録、エクスポート・インポート、手書き入力	1.5H×1回 3.0H×2回	通常授業 特別授業
④ 文書作成 (Word)	文書作成と整形、表・罫線・図形・画像の入力、 ちょっと難しい文書整形 (マニュアル文書作成)	1.5H×2回 3.0H×2回	通常授業 特別授業
⑤ 表計算 (Excel)	表計算とは? からセルの参照まで 金銭出納帳、ピボットテーブルとグラフ作成	1.5H×2回 3.0H×4回 3.0H×8回	通常授業 特別授業 サークル勉強会
⑥ 年賀状作成 (筆まめ)	住所録とデザイン作成 画像整形、デザイン面の整形	1.5H×2回 3.0H×4回	通常授業 特別授業
⑦ メールの登録と使い方 (Yahoo!メール)	Yahoo!メールの登録と使い方 Web(Yahoo!・G-mail)メール・Eメールの作成と使い方	1.5H×2回 3.0H×2回	通常授業 特別授業
⑧ 防災情報を取得	ホームページを利用 (サイボウズリーダー・ハザードマップ)	3.0H×2回	サークル勉強会
⑨ 各種アカウントについて	Microsoft・Google・Yahoo・Amazonアカウント等	3.0H×2回	サークル勉強会
⑩ デジカメ写真の保存、整形、印刷	SDカード・USBメモリを使って実習	3.0H×2回	サークル勉強会
⑪ 判子作成 (クワックスタンパー)	判子作成と活用の仕方	3.0H×4回	サークル勉強会
⑫ ソフトのインストール・アンインストール	フリーソフトのインストール・アンインストールの実習	3.0H×2回	サークル勉強会
⑬ YouTubeから動画及び曲をダウンロード	OnlineVideoConverterでのフォーマット変換とダウンロード 音楽CD・動画DVDの作成	3.0H×2回	サークル勉強会
⑭ ネットショッピング (Amazon)	購入体験	----	----
⑮ ネットワーク関連知識の習得	ブロードバンドルーター・アクセスポイントの仕組み Wi-Fi (親機) の設定	1.5H×1回 3.0H×1回	通常授業 特別授業
⑯ レジストリ操作の習得	レジストリデータの編集	3.0H×2回	サークル勉強会
⑰ PCのメンテナンス	ディスククリーンアップ、システムの保護の仕方	----	----
⑱ DVD鑑賞会 & 昼食会での特別授業	救急医療情報キットの配付	0.5H×1回	参加者

6.受講環境・カリキュラムの改善

1.受講環境の改善

受講生が受講しやすい良い環境を作るためいろいろな対策と改善を日々行っている。

① **Windows10へのアップグレードとアップデート**
新規受講者のWindowsのOS(オペレーションシステム)が違うと全く画面と操作が違っているのと、プロジェクトを使用しての共通授業が行えません。そのため、新規受講者でWindows7・8がInstallされている方は、全員Windows10にアップグレードした上で最新バージョンにアップデートします。又、既にWindows10がInstallされているものでも最新バージョンにアップデートして画面と操作の共通化を図っている。(22台実施)

② HDDをSSDに換装

受講生のノートPCの作動速度改善するためHDD(ハードディスクドライブ)からSSD(ソリッドステートドライブ)に21台交換した。これまでのSSDへの総換装台数151台となった。

③ ノートPCのメンテナンス

受講生の動作が不安定なノートPC21台をWindows10クリーンインストールした。又、古いノートPCで動作が遅い32bit版のものは、64bit版に4台変更をした。

④ 古いOfficeをOffice2016へバージョンアップ

Officeの授業は2016を用いている。古いバージョンのOfficeをInstallされているPCでは画面と操作方法と違うところが時々あるため、Office2016にバージョンアップするように勧めた。(20台実施)

⑤ 講師の声が聞こえにくい問題の改善

授業時、後部の受講生から講師の声が聞こえにくいとの話しがあったためスピーカーセットを購入した。講師はピンマイクをつけて話すようにし、教室の最後部にはスピーカーを設置した。
※PC関係の改善作業は全て塾長が行っている。

2.カリキュラムの改善

前年度の達成度・満足度のアンケート調査の結果、通常授業に於いて達成度・満足度が極端に低く、改善が必要であると判明したため、その改善を図った。

① スタッフの増員

通常授業の指導の充実性を高めるため、スタッフを2名増員し11名(男8名、女3名)体制とした。

② 通常授業の受講回数増

通常授業の受講時間不足対策として、受講回数24回/年を4回増やし28回/年とした。

③ 全体的な講義の仕方の見直し

アンケート調査の結果を踏まえて、全体的な講義の仕方の見直しを行った。従来は講師が受講生に一つでも多く覚えていただくという思いが強すぎたため、覚えきる前に前に進みすぎたという反省を踏まえ、実践形(受講者にできるだけ実践させながら覚えていただく、又何回でも解るまで説明)授業に変更した。

④ スタッフのパソコン知識のレベルアップ

スタッフが書生の授業をより適切に指導するためには、スタッフが常に勉強していかなくてはならないと言う考えで研修会を3H/1回、2回/月開催している。以下研修内容です

- ◎ 「WordをPDFに変換」のマニュアルを作成(4回)
- ◎ Windows10のパーティション作成、フォーマット実践(2回)
- ◎ Windows10のクリーンインストール実践(7回)
- ◎ HDDからSSDの換装、加-ディスクを作成と実践(3回)
- ◎ Acronis True Imageを使ってBackup(5回)
- ◎ Excel金銭出納帳の作成(4回)



7.期待される成果と効果

1.受講環境の改善による成果と効果

- ① Windowsのアップグレードとアップデート**
各自のPCのOSが違うと、画面と操作が違うので授業そのものが成り立たない、PCのOSを共通化にすることにより初めてプロジェクトを使用しての授業が実現できる。
- ② HDDをSSDに換装してPCを高速化**
SSDに換装することにより、ディスクの作動が約10倍高速になるといわれている。実際の効果は!!
◎ Windows10の立ち上がり、従来約30~60秒程かかっていたが換装後ほとんど瞬時に立ち上がる様になった。
◎ アプリケーションの立ち上がりに於いても、従来の3分の1くらいの時間で立ち上がる様になった。
◎ インターネットに於いては、ネットの切り替え時の速度が劇的に早くなった。
※一度SSDのPCを使うとHDDのPCは遅くて使えません。
- ③ ノートPCのメンテナンス**
◎ OS(オペレーティングシステム)をクリーンインストールをしたことにより、ディスク内にある不要なドライバーやソフトウェアがクリーン化され、PCの動作が安定しサクサクと動くようになった。
◎ OSを32bit版を64bit版にすることにより、PCの演算機能が向上するため、PCそのものの動きが早くなりましたので受講生からお礼の言葉をいただいている。(PCのベースが64bitのときのみ可能)
- ④ 古いOfficeをOffice2016へバージョンアップ**
授業で講師の説明と画面や操作が少しでも違っていると大騒ぎになりました。Office2016にバージョンアップすることにより、同一画面、同一操作で学習できるため、理解しやすくなった。
- ⑤ 講師の声が聞こえにくい問題の改善**
改善により、後部の受講生でも講師の声がはっきり聞こえる様になったと大変喜ばれている。

2.カリキュラムの改善による成果と効果

- ① 通常授業でのスタッフの増員**
通常授業の受講生で、特に超初心者にはマンツーマンに近いかたちで指導できるようになった。
- ② 通常授業の受講回数増**
従来は時間に追われた授業を行っていたが、受講生が理解できるまで時間を掛けることができる。(何回でも説明)
- ③ 全体的な講義の仕方の見直し**
実践形の講義に変更した結果、授業の進み方は大変遅くなったが、受講生には大変好評です。
- ④ スタッフのパソコン知識のレベルアップ**
定期的な実践的な授業(研修会)を行っているために、最近では質問者への解答をスタッフが明解にできるようになってきており、スタッフの実力が上がった姿が随所に見えてきた。

3.まとめ

できるだけ多くの方が参加してパソコン操作や知識を楽しく習得していただき、それを継続させるためには快適な環境を構築(ソフト面とハード面共)して楽しく受講できる魅力ある教室にしなければなりません。そのための対策と改善をパソコン寺子屋では日々行ってきた結果、本年度は2,486名の参加者となった。以上1.および2.の成果と効果から、中高年受講者は、楽しく学び習得したパソコン操作や知識を日常生活や趣味や仕事(会社や自治会関係)等にも活用し、快適な生活の一助となっていると思われる。またパソコン寺子屋の教室は和やかであり、受講者同士のメール交換も行われるようになり人の輪も広がっていると思われる。

8.六郷まちづくり協議会との連携

1.救急医療情報キットの配付

パソコン寺子屋では年2回DVD鑑賞会&昼食会を開催しているが、今回(3月5日)は特別に六郷まち協の担当者に来ていただきまして、救急医療情報キットの活用の事例と運用の仕方を説明していただいた。

参加者の皆さんがこのお話しに大変興味を持たれたようで、結果的には全員(35名)の方が賛同され、医療キットを持ち帰っていただいた。この救急医療情報キットについては、今まで六郷地区の単位自治会の皆様に呼びかけて配布しておりますが、最近では伸び悩みの状況にあった。

菊川市1%地域づくり団体への配布は、今回が初めてのケースとなるので今後の良い事例となると思う。
※救急医療情報キットは六郷まち協地域福祉部会の事業



9.残された課題と次年度への展開

1.スクリーンの文字が小さく見えにくい問題の改善

受講者が多くなるに連れて、後方の受講生がスクリーンの文字が小さく見えにくくなって来ている。この改善策として現在使用している100インチのスクリーンを150インチの電動式スクリーンに交換する計画であったが諸般の事情により来年度実施するように計画変更しました。(スクリーン購入費・設置費は、全て寺子屋の財源から拠出)

2.決算報告書の明確化

従来より地域づくり交付金とは別会計としてパソコン寺子屋の決算書を作成していたが、本来この会計は交付金+自主財源で運用しているため、一つに統合し、わかりやすい決算書に改善した。単なる決算報告書を統合してあるだけではなく、歳入・歳出科目の分類と出力が(Excelのマクロを使用)ワンタッチで自動的に作成できるようになった。この改善により、常に歳入・歳出科目内容が把握できるため管理できる様になった。